

グリーンウェーブ

食品加工研究室では、県内農林水産物の素材を活用した加工、鮮度保持、品質管理等に関する研究を行い、食料自給率向上や地産・地消の取組みを支援しています。

県内の特徴ある農産物の機能性評価と栄養成分分析をしました

山口県には、伝統野菜や県オリジナル育成品種などの特徴ある農産物があります。これらの農産物を一層活用していただくため、食品加工研究室では、人の健康に関与すると言われている機能性や栄養成分を明らかにしました。長門市の田屋で古くから栽培されてきた田屋ナスでは、今回の調査で、健康に良い「活性酸素を除去する機能」が高いことがわかりました。他の農産物もセンターのホームページで公開していますのでご覧ください。

http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a172010/00000001/index.html



田屋ナスは活性酸素を除去する機能が高いんです。



機能性評価表

| 種別 | 科 | 品目 | 品種 | 抗酸化能 | 活性酸素除去能 | 抗アレルギー性能 | 脂質代謝改善能 |
|----|----|----|----|------|---------|----------|---------|
| 野菜 | ナス | ナス | 田屋 | 低い | 高い | 無 | 無 |

伝統野菜の栄養成分表

| 作物名 | エネルギー kcal () | 水分 (g) | たんぱく質 (g) | 脂質 (g) | 炭水化物 (g) | 灰分 (g) | 無機質 | | | | | | ビタミン | | | | 食塩相当量 (g) | | |
|------|-------------------|-----------|--------------|-----------|-------------|-----------|---------------|--------------|---------------|----------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------------------|--------------|------------------------|-----------|
| | | | | | | | ナトリウム (mg) | カリウム (mg) | カルシウム (mg) | マグネシウム (mg) | リン (mg) | 鉄 (mg) | 亜鉛 (mg) | 銅 (mg) | A (μg) | B ₁ (mg) | | B ₂ (mg) | C (mg) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 田屋なす | 21 | 93.5 | 0.8 | 0.1 | 5.1 | 0.5 | 1 | 240 | 10 | 10 | 13 | 0.5 | 0.4 | 0.11 | 35 | 0.03 | 0.03 | 2 | 0 |

<主な内容>

『県内の特徴ある農産物の機能性評価と栄養成分分析をしました』

～食品加工研究室～

◇各部の取り組み

『スイカ果実腐敗症の発生原因解明と防除対策の確立』

～農業技術部 資源循環研究室～

『山口で生産された種雄牛が活躍中！！』

～畜産技術部 家畜改良研究室～

『間伐等の森林整備推進のための林業作業の担い手を育成』

～林業技術部 林業研修室～

『野菜の省力機械化作業研修を実施しました』

～農業研修部（農業大学校）～

◇トピック紹介・お知らせ

『イタリアンライグラス新品種「きららワセ」』

～農業技術部 土地利用作物研究室～

『かんきつせとみ』の黒点病類似症状の原因解明と防除方法の確立』

～農業技術部 柑きつ振興センター～

スイカ果実腐敗症の発生原因解明と防除対策の確立

平成18～20年に、山口県内の市場に出荷したスイカの果実が腐敗する障害（スイカ果実腐敗症）が発生しました。センターでは、生産者、農林事務所、農協と協力して、本症の発生原因の解明と防除対策の確立に取り組みました。

本症は3種類の細菌が関与する障害であることを明らかにしました。これらの細菌は、収穫出荷時等の果実の傷などから侵入し、急激に腐敗を引き起こすため、出荷時に症状がないものが、市場で急激に腐敗するという症状が発生していました。本症の原因となっている細菌は、自然界に広く一般的に存在しているので、細菌の感染防止には、収穫から選果時にかけての傷の発生を防ぐことが重要です。防除方法としては、収穫物の丁寧な扱いによる傷防止と銅剤の散布が有効であることを明らかにしました。

これらの結果がスイカ果実腐敗症の発生予防に活かされます。



山口県で生産された種雄牛が活躍中！！

～優秀な遺伝的能力を持つ種雄牛の育成と活用の取組み～

山口県内のほとんどの牛が「人工授精」という技術で生産されています。

人工授精とは、おいしい肉や牛乳を生産する、優秀な能力を持つ種雄牛から精液を採り、その精液を雌牛に注入して子牛を産ませる技術です。

畜産技術部では、優れた能力を持つ種雄牛を育成・選抜する他、種雄牛から人工授精用の凍結精液を生産し、県内の畜産農家に販売しています。

平成22年7月(前期)、9月(後期)に開催された第58回山口県和牛共進会では、「東平福」の産子が、3年連続で農林水産大臣賞を受賞した他、「福美美」の産子が後期最優秀賞を受賞する等、県有種雄牛の産子が近年優秀な成績を収めており、畜産技術部では、今後も優秀な種雄牛の育成とその精液の活用推進を進めていくこととしています。



山口県有種雄牛「東平福」



農林水産大臣賞を受賞した産子の枝肉

間伐などの森林整備推進のため林業作業の担い手を育成 ～林業作業就業前研修の取り組み～

木材価格の長期低迷、林業従事者の高齢化など、林業を取り巻く情勢は依然厳しいものがありますが、近年の景気の低迷により、新たに働く場を求めて森林組合などの林業事業体へ就業を希望する人たちが増加しています。

林業技術部では、これらの新規就業希望者が円滑に就業できるよう、安全に木を切り倒す方法や下草刈りの方法など、林業に欠かせない基本的な知識・技能を身につける「林業作業就業前研修」を実施しています。

今年度は、6月と10月の2回実施し、併せて40名の研修生に「伐木等の業務に係る特別教育」及び「刈払作業に係る安全衛生教育」の資格修了証を交付しました。

林業の現場は、経験が不可欠であり、今後、研修生が各々の地域に定着し、間伐などの森林整備推進の一翼を担っていくことが期待されます。



刈払機の研修風景



チェーンソーの研修風景

やまぐち就農支援塾は農業の担い手を育てます！！

農業研修部では、農業を職業としたい方や退職・離職等を機に就農を希望する方を対象として、基礎から学ぶ体験研修「やまぐち就農支援塾」を開催しています。

今年度は、動機付けから本格的な就農を前提とした幅広い就農支援と集落営農法人などのオペレーターの技術向上を図るための研修を実施しました。

平成23年度も研修ニーズに応え、担い手の育成につながる研修として「やまぐち就農支援塾」を開催していきます。



短期研修で種まき体験



担い手養成研修の野菜定植実習

平成22年度の開催状況

| 研修名 | 受講者数 | 研修内容 |
|----------|------|-------------------------------|
| 短期研修 | 16 | 農作業体験で就農の動機付け研修(5日間) |
| 入門研修 | 42 | 野菜、花き、果樹で休日に栽培の基礎を研修(年間9～13回) |
| 担い手養成研修 | 17 | 雇用研修生を対象に本格的な農業を開始するための実践研修 |
| 集落営農法人研修 | 11 | 法人等のオペレーターの技術向上 |

【お問合せ先】TEL (0835) 38-0510
県農林総合技術センター農業研修部やまぐち就農支援塾

試験研究のトピック紹介

イタリアンライグラス新品種「きららワセ」

草姿は直立型で、収量が多く、倒伏に強い、4倍体の早生品種です。

いもち病と冠さび病に強いいため、9月中旬に早播きしても安定した収量が得られます。

また、ワセユタカに比べて初期生育が旺盛なため、雑草害を受けにくく、11月以降に播き遅れても減収程度が小さい品種です。

平成22年1月に品種登録出願し、米国での種子増殖を経て、3年後には市販される見込みです。



「きららワセ」の草姿



「ワセユタカ」

「きららワセ」

初期生育（12月15日）

「せとみ」の黒点病類似症状の原因解明と防除方法の確立

センターが育成した中晩生かんきつ「せとみ」は、高糖度で消費者の評価が高く、県下の産地で栽培が進んでします。しかし、梅雨期以降の果実に黒い大きな斑点が現れ、外観を著しく損ねることから、その原因解明と防除方法の確立に取り組みました。

この斑点の原因は、かんきつの黒点病の病原であること、また、「せとみ」は他のかんきつに比べ病斑が大きくなることが明らかになりました。

防除は、黒点病の薬剤剤剤を使いますが、防除薬剤にパラフィン系の添着剤を加えたり、梅雨期の防除間隔を短縮することでその効果は高くなります。



「せとみ」の果実に現れた黒点病症状



黒点病菌の接種によって再現された病徴

<山口県農林総合技術センター 企画情報室>

〒753-0214 山口市大内御堀1419 TEL (083) 927-7011 FAX (083) 927-4386

URL http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a172010/00000001/index.html

※ 皆さまからの御意見、御要望をお待ちしております。